

令和5年(2023年)3月実施

公立高等学校入学者選抜状況報告書

北海道教育庁学校教育局学力向上推進課

目 次

出願者の概要	1
§ 1 出願者の状況	2
§ 2 学力検査（本検査）結果の概要	7
§ 3 学校別受検者数及び合格者数	9
§ 4 学力検査問題の分析（正答表・分析等）	23
§ 5 学力検査問題等研究協議会における主な意見	38

はじめに

この報告書は、本年3月に実施した、令和5年度（2023年度）公立高等学校入学者選抜の実施状況についてまとめたものです。

令和5年度入学者選抜に係る事務が、中学校、高等学校及び関係機関各位の御理解と御協力により、厳正かつ円滑に進められ、無事終了したことに心から感謝申し上げます。

本道においては、これまで、各学校において、生徒の個性や能力などを多面的に捉えるとともに、各学校の特色を生かした選抜ができるよう入学者選抜の改善を行ってきたところであり、令和5年度入学者選抜においては、自らを各学校が示す「入学者受入れに関する方針」に合うと考えている者が出願できる自己推薦を導入し、推薦による合格者数が前年度より1,588人増え4,970人となるなど、中学生がより主体的に進路選択を行うとともに、各学校が期待されている社会的役割を果たし、目指すべき学校像の実現に資する入学者選抜が行われました。

令和6年度入学者選抜については、既に各高等学校の学校裁量に係る事項の状況を取りまとめ、中学校、高等学校に周知するとともに、北海道教育委員会のウェブページなどを通して、広く道民の皆様にもお知らせしたところであります。

各高等学校においては、今後とも入学者選抜の改善の趣旨が十分に生かされるよう、学校裁量に係る事項の見直しなどについて、引き続き御検討をお願いいたします。

北海道教育委員会では、例年、入学者選抜の合格発表後に、公立高等学校入学者選抜学力検査問題等研究協議会を開催し、中学校及び高等学校の先生方に学力検査や入学者選抜に係る事務などについて協議いただいているところであり、本協議会でいただいた御意見を参考にしながら、今後とも、より適切な入学者選抜の在り方について検討してまいりたいと考えております。

本報告書においては、義務教育段階における課題の改善状況や授業実践例、義務教育段階の取組を踏まえた高等学校の指導の在り方について、本年度の学力検査問題と関連付けて示しております。また、11月に公表する「令和5年度全国学力・学習状況調査 北海道版結果報告書」においては、本年度の全国学力・学習状況調査と入学者選抜学力検査の結果を一体的に捉えた、小学校及び中学校等における授業改善の方向性を示すこととしております。

本報告書が、各学校において活用され、全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえた授業改善と学力検査問題の出題のねらいが一体のものを踏まえ、小中高の連続性を意識した学力向上の取組が、より一層推進されることを期待しております。

令和5年（2023年）8月

北海道教育庁学校教育局学力向上推進課長

高 橋 宏 明